

適用規格					
定 格	使用温度範囲	-10°C ~ +60°C	保存温度範囲	-10°C ~ +60°C	
	電 圧	AC 100 V , DC 140 V	_____	_____	
	電 流	2 A	適合ケーブル	_____	
性 能					
	項 目	試 験 方 法	規 格	QT	AT
構 造	外観、構造及び仕上げ	目視、寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。	○	○
	表示	目視にて確認する。		○	○
電 気 的 性 能	接触抵抗	単位コネクタをDC 1 Aで測定する。	15 mΩ以下	○	—
	絶縁抵抗	DC 250 Vで測定する。	1000 MΩ以上	○	○
	耐電圧	AC 300 Vの電圧を1分間印加する。	せん絡・絶縁破壊がないこと。	○	○
機 械 的 性 能	コネクタの挿抜力	_____ の鋼製ピンで測定する。	挿抜力 _____ N以上	—	—
	コネクタの挿抜力	適合コネクタで測定する。 (ロック機構を含む。)	挿抜力 50 N 以下	○	—
	繰り返し動作	1000 回の抜き差しを行う。	接触抵抗: 20 mΩ以下	○	—
	耐振性	周波数 10~ 55 Hz, 振幅 0.75mm, 加速度 — m/s ² で2時間×3方向試験する。	①10μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと	○	—
	耐衝撃性	加速度490m/s ² , 持続時間 11ms, 正弦半波3方向各3回試験する。	①10μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと	○	—
	コネクタ保持力	圧着結線された適合コンタクトを組み込んだ後、電線に引張荷重を加え測定する。	20 N 以上	○	—
	環 境 的 性 能	定常状態の耐湿性	温度 40°C, 湿度 90~95 %中に 96 時間 放置する。	①絶縁抵抗: 10MΩ以上 (高湿時) ②絶縁抵抗: 100MΩ以上 (乾燥時) ③破損、ひび、部品のゆるみがないこと	○
温度サイクル		温度 -55°C →常温 → +85°C →常温 時間 30 →10~15 → 30 → 10~15 分 を5サイクル試験する。	①絶縁抵抗: 100MΩ以上 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと	○	—
塩水噴霧		濃度 5 %の塩水, 48 時間放置する。	はなはだしい腐食がないこと。	○	—
耐熱性		温度 +85°C中に 96 時間放置する。	破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
耐寒性		温度 -55°C中に 96 時間放置する。	破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	△の数	訂正記事	設計	検図	年月日
Q					
備考			承認	YH. YAMADA	17.11.07
上記の規格値は、適合端子を組み込んだ状態での値を示す。			検 図	HY. KOBAYASHI	17.11.06
試験規格の記載のない試験方法はIEC 60512を適用している。(JIS C 5402)			担 当	DS. MATSUNE	17.11.06
			製 図	DS. MATSUNE	17.11.06
注 QT:確認試験 AT:製品検査 ○:適用項目		図番	SLC-010081-71-71		
HRS	製品規格表		製品名	RP13A-12RA-15PC (71)	
	ヒロセ電機株式会社		製品コード	CL113-0207-3-71	△ 1/1